

やめさせよう 安倍改憲



集団的自衛権行使

空母・巡航ミサイル保有

イラク日報隠ぺい

幹部が国会議員を罵倒

首相が書き込むのは

安倍政権は末期状態ですが、9条改憲には異常な執念を燃やしています。

首相が9条に明記しようとする自衛隊は、災害救助に汗を流す自衛隊ではありません。安保法制によって集団的自衛権を行使し、長距離巡航ミサイルや空母を持ち、専守防衛をかなぐり捨てた自衛隊。「日報」を隠ぺいし、国民に選挙で選ばれた国会議員を「国民の敵だ」と罵倒する自衛隊です。

こんな自衛隊に大きな権限を与える9条改憲は、あまりにも危険です。海外で戦争する軍隊への変質を許してはなりません。

海外で戦争する軍隊

核・ミサイルの脅威抜け出した

ムンジェイン
文在寅・韓国大統領

6.12合意（米朝共同声明）は、地上最後の冷戦を解体した世界史的事件として記憶されるでしょう。（12日の談話）



朝鮮半島に立ち込めていた戦争の暗雲をついに払いのけ北朝鮮問題の解決と恒久平和への力強い歩みを本格的に踏み出せるようになりました。…会談には多様な評価がありますが、米日韓をはじめ世界の人々を戦争と核・ミサイルの脅威から抜け出させたこと以上に重要な外交的成果はないでしょう。（14日の国家安全保障会議での発言）

米朝首脳会談

12日、シンガポールのカペラホテルで合意文書に署名後、握手を交わす米朝両首脳。12日放映 NHKテレビより



「非核化」と「安全の保証」で合意した米朝首脳会談（12日）について“具体性に乏しい”など懐疑的・悲観的な見方があります。しかしこれは会談の歴史的意義を見誤ったものです。

●1回で解決するのはムリ

米朝は長期にわたって敵対し、相互不信も強い国同士。1回きりの会談で一挙に解決を図ることは、どだい無理です。関係国・国際社会が平和のプロセスを促進し、困難であっても粘り強く協力していく姿勢が重要です。

●まただまされる？

6カ国協議の共同声明など、これまでの合意は大使級や次官級・局長級の合意でした。今回の会談は、歴史上はじめての首脳間の合意であり、簡単には逆戻りできない重みのある合意です。

●9条改憲の根拠は崩壊

平和のプロセスが成功すれば「北朝鮮の脅威」を口実に安倍首相が進めてきた安保法制や沖縄・辺野古新基地建設、憲法9条改定の根拠は全て崩壊します。

平和のプロセスを前へ

日本共産党